

議会報告会実施報告書

開催日時	平成23年 9月 6日(火) 18時36分～20時08分		
開催場所	弁天会館	聴衆	8名
担当議員	1班	長原・堀江・米林・池端・大平・棟方・上村	

報告事項に関する質疑

Q 1 逃げるとなれば学校だが、手すりや階段など老朽化が激しくて不安。市・議会はどう考えているのか？本町は防災無線もなく、サイレンも鳴るけどちょっと離れると聞こえない。何のサイレンかもわからない。住民としても勉強する必要がある。避難訓練も必要。

A 1 北海道・市が防災計画改定に着手。避難先や経路なども見直しされる。

デジタル波伝搬調査や J-ALERT などにも取り組んでおり、整備はこれから。サイレンは本署の方も聞こえなかった。やり方に課題も残ったが、今回が一回目の試験。これから繰り返しながら改善していく。

避難訓練は地域によっては盛んに行われているところもある。各家庭でシミュレーションしていくことも必要。

津波の際の避難ビルには、市営住宅も指定されているはず。番屋の宿も指定されていたが、休業中ということで解除された。この件については、町内会に対し7月に危機管理担当から話があったと聞いている。

今後も皆さんの意見を伝えていく。

Q 2 市営住宅は4階建てだが、意外と低い。今回の地震では屋上に避難した人が比較的助かっている印象が強い。市営住宅等も屋上に避難できるよう整備してほしい。

A 2 こうした建設的意見を、地区防災計画策定作業において反映してほしいし、議会としても伝えていく。

Q 3 避難場所の整備は重要。備蓄品もどこかにまとめるのではなく、避難所などすぐ使えるようにしないとダメ。津波や地震だけでなく、今回の台風のような災害に対する対策も必要。

A 3 これら諸々がこれからの課題。市は想定被害をM6.8 震度6強、住民の5%が被災するとして、これを目標に備蓄している。

津波については、道が過去の事例を根拠に分析し、来年3月を目処に一定の方向を示すことになっており、それを踏まえて市も計画を整理。

避難所の整備と、その周知と訓練が重要。急ぐべきだが、拙速も良くない。

Q 4 起こってから考えているのでは遅い。今からやらなければ。

A 4 全国には参考にすべき事例もある。これらも参考に議会も意見していく。

Q 5 災害時は川の活用も考えられる。防災桟橋整備には議会も開建に働きかけるなどの支援を望む。

A 5 いろいろな情報をもらいながら検討していく

